

ドリフトパッケージ・ランニングセットを お買い求め頂きまして有難う御座います。

お買い求めになりました組立てキットの説明書に
従って、シャーシに搭載してご使用下さい。



セット内容

1. 送信機
2. 受信機
3. サーボ
4. スピードコントローラー
5. モーター
6. 充電器
7. バッテリー
8. バンドリボン

●RCメカ（プロポ、受信機、サーボ、スピードコントローラー）

送信機に付属のアンテナを取り付け、単3乾電池8本（別途購入）を入れてからご使用下さい。

サーボはシャーシに搭載する前にニュートラル調整を行います。（送信機の取扱説明書を参照してください）

スピードコントローラーの調整は3ページのSCR DSの取扱説明書を参照してください。

●モーター

セット付属のモーターはドリフトマシン専用に開発しましたD-1SPOTS 27T R MOTORがセットされております。

テクニクが向上しスピードアップを求めるファンに応えるハイパワータイプのD19 ターンもオプションでご用意しております。

●バッテリーの充電方法

バッテリーを充電するときには、充電器をAC100V（コンセント）に差し込む前に、充電器に変換コネクターをつなぎ、バッテリーを接続、最後に充電器をAC100V（コンセント）に差し込むようにしてください。

次に充電器を、AC100V（コンセント）に接続してください。

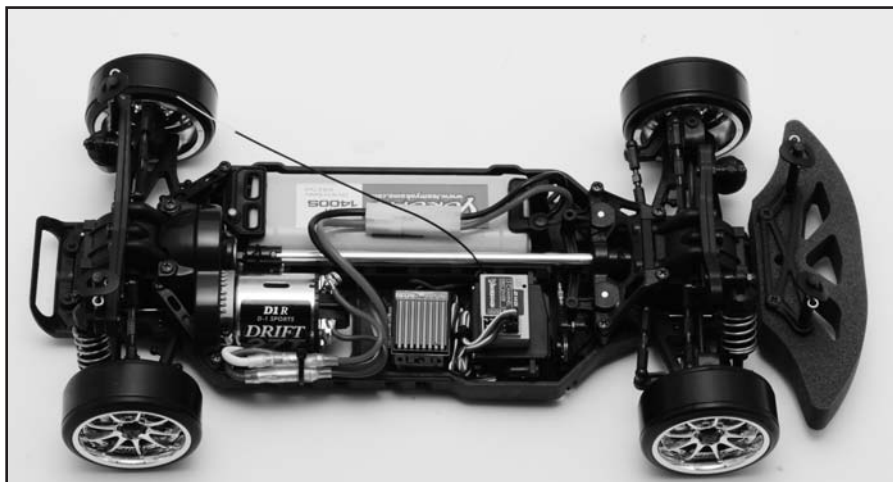
接続すると、LEDランプが赤色に点灯し充電が開始されます。LEDランプが黄色になると充電が完了です。（バッテリーによっては、充電中に赤色と黄色のLEDが交互に点滅する事があります。このような場合には充電完了と考えて、充電を終了してください。）

充電が完了したらまず充電器をAC100V（コンセント）電源から外し、次にバッテリーを外して車に搭載してください。

◆キット組立て説明書P.24と照し合わせてご覧下さい。◆

RCメカの搭載例

スピードコントローラーが大容量タイプのバック付のため大きく、キット組立て説明書の配置では受信機とスピードコントローラーは取り付けることが出来ませんので右の様に受信機はサーボの上アンテナ線は、モーターコードやバッテリーコードと一緒に束ねない様にして下さい。誤作動の原因となりますので十分注意して下さい。



万一お困りの点が有りましたら 株式会社ヨコモ アフターサービス部

TEL 03-5613-7553 FAX 03-5613-7552E-Mail support@teamyokomo.com までお問い合わせ下さい。

この度はお買上げ有り難うございます。高度な最新機能と高出力によるパフォーマンスを満足していただけたらと思います。DRIFT SPORTの性能を活かす為、この取扱説明書を必ずお読み下さい。

特徴

- プログラミング可能
- 高周波数によるハイパフォーマンス
- 前進、リバース、A.B.S.(アンチロック・ブレーキ・システム)付き
- ワンボタンで簡単に設定
- スピードアップ機能
- リバース・ディレイ機能
- オーバーヒートによるダメージを防ぐために、高温保護機能を搭載
- NiCd/NiMH/LiPoバッテリータイプの設定
- 過放電を防ぐ保護機能を搭載
- プロポ側スロットルリバース・スイッチの設定不要
- MOSFETトランジスタにより高出力と高効率を両立
- プロポ、バッテリー、モーター用コネクタ付き

ご使用上の注意

- ご使用なる前に取扱説明書を必ずお読み下さい。
- 水たまりのある所では走行させない下さい。機器に水が入ると危険です。
- NiCd/NiMHの場合は6~7セル、LiPoの場合は2セルまで使用可能です。
- 使い終わった後は電源スイッチを必ず切して下さい。
- スピードコントローラーを受信機に正しく接続して、送信機の電源を入れた後にスピードコントローラーの電源を入れて下さい。
- バッテリーの極性に注意して下さい。入力極性を逆にしますと破損します。
- 走行後スピードコントローラー等熱くなっている所に触れないで下さい。
- 配線のショートに気を付けて下さい。
- グリス・水分・油分などが浸入しやすい場所に取り付けしないで下さい。
- 使用するモーターにコンデンサーが付いていないときに付属のコンデンサーをご使用ください。使用中に破損などした場合に交換してください。

スピードコントローラーの搭載

- スピードコントローラーは熱くなりますので、冷却のため空気の流れの良い場所に搭載して下さい。
- シャーシにスピードコントローラーを両面テープで固定します。

電源スイッチの取付

- スwitchは、両面テープで操作しやすい位置に固定して下さい。

受信機の取付

- 可能な限り、モーター・モーターコード・バッテリーなどのノイズ発生源から受信機を離すように搭載して下さい。
- カーボンシャーシの場合は、シャーシからアンテナ線と受信機(特にクリスタル部分)を離すように搭載して下さい。

プロポの設定

スピードコントローラーが正常に動作するためには、以下のプロポ設定が必要です。

- ATV、EPA、ATLの機能が付いた送信機の場合は最大にセットする(スロットル側)。
- スロットルトリムとサブトリムをニュートラル(あるいはゼロ)にセットする。

スピードコントローラーの取付

- 送信機を調整してスピードコントローラーを受信機に接続して下さい。
- バッテリーとスピードコントローラーの脱着の時は、スピードコントローラーの電源スイッチを必ず切して下さい。
- 必ず送信機の電源を入れた後にスピードコントローラーの電源を入れて下さい。

セットアップ

- ① 送信機のスロットルはニュートラル位置のまま、スピードコントローラーのセットボタンを押し続けます。緑色のLEDが点滅したらセットボタンを離します。ニュートラル位置はこれで設定されます。
- ② スロットルを前進一杯の位置にします。赤色のLEDが点灯したら前進一杯の位置はこれで設定されます。
- ③ スロットルをブレーキ一杯・バック一杯の位置にします。赤色と緑色のLEDが点灯したらブレーキ一杯・バック一杯の位置はこれで設定されます。
- ④ スロットルをニュートラル位置に約3秒置きます。緑色のLEDが点灯したら設定終了です。
- ⑤ A.B.S.(アンチロック・ブレーキ・システム)を設定するには、赤色と緑色のLEDが約3秒間、交互に点滅している時にスロットルを前進一杯、あるいはバック一杯の位置に一回入れ、ニュートラル位置に戻します。赤色のLEDが点滅したらA.B.S.(アンチロック・ブレーキ・システム)は設定されます。
- ⑥ A.B.S.(アンチロック・ブレーキ・システム)を解除するには、1-4の手順で終了します。

※ 誤って設定した場合は、電源スイッチを切って、設定を再度行って下さい。

高温保護機能

スピードコントローラーの温度が極度に上昇した場合は、高温保護機能が働きます。温度が冷えるまでモーターへの出力は一時的に切れま

加速タイムディレー

- 最初のスロットル操作に対して、加速時間(モーターへの電流量)を調整します。路面状況に合う設定を選択して下さい。
- スロットルをニュートラル位置のまま、スピードコントローラーのセットボタンを3秒押し続けます。緑色のLEDが点滅した後に赤色のLEDが点滅したらセットボタンを離して下さい。
- 1秒後に、赤色のLEDが1回点滅します。ここでセットボタンを押し離すと、加速時間の最低値(MINIMUM)が選択されます。
- もう1秒後に、赤色のLEDが2回点滅します。ここでセットボタンを押し離すと、加速時間の中間値(MEDIUM)が選択されます。
- 次に、赤色のLEDが3回点滅します。ここでセットボタンを押し離すと、加速時間の最高値(MAXIMUM)が選択されます。

1回点滅	MINIMUM加速時間(ノーマル路面)
2回点滅	MEDIUM加速時間
3回点滅	MAXIMUM加速時間(低グリップ路面)出荷時設定

バッテリータイプの設定(NiCd・NiMH・LiPo)

- スロットルをニュートラル位置のまま、スピードコントローラーのセットボタンを5秒押し続けます。赤色と緑色のLEDが両方点滅したらセットボタンを離して下さい。
- 1秒後に、緑色と赤色のLEDが1回点滅します。ここでセットボタンを押し離すと、LiPo用(カットオフ5.5V)の設定が選択されます。
- もう1秒後に、緑色と赤色のLEDが2回点滅します。ここでセットボタンを押し離すと、NiCd/NiMH用(カットオフ4.0V)の設定が選択されます。

1回点滅	LiPo バッテリー
2回点滅	NiCd&NiMH バッテリー出荷時設定

リバース ディレー機能

- このスピードコントローラーはリバースディレー機能が標準設定されています。前進側からバック操作を行うと、まずブレーキを動作します。
- ブレーキ操作の場合は、スロットルを前進側からバック操作を行うとブレーキが動作します。
- バック操作の場合は、スロットルを前進側から一度ニュートラルに戻して続けてバック操作を行うことにより、バックします。

仕様

使用電源 NiCd & NiMH	6-7セル (7.2-8.4V)
使用電源LiPo	2 セル
周波数	1.0 kHz
BEC出力電圧	5.0V
BEC出力電流	1.0A
ON抵抗	0.0035 Ω
カットオフ電圧	NiCd/NiMH (4.0V) & LiPo (5.5V)
モーターターン数制限	12 ターンまで
加速タイムディレー	0.09, 0.16, 0.27 秒
重量(配線含む)	49g
寸法	35 x 27 x 17 mm

トラブルの対処方法

モーターとステアリングサーボが動かない

- バッテリー不良
- 配線ミス・接続不良
⇒モーター、バッテリー、受信器の配線極性(+)は合っていますか?
⇒コネクタを破損していませんか?
- 送受信器の不良・設定ミス

ステアリングは動くがモーターが回らない

- モーターの不良
- 配線ミス・接続不良
⇒モーターへスピードコントローラーのワイヤが正しく接続されていますか?
⇒受信器にスピードコントローラーのプラグが正しく差し込まれていますか?
⇒コネクタを破損していませんか?
- スピードコントローラーの設定ミス

スピードコントローラーと受信器が誤作動する

- 受信器・モーターの不良
- 受信器・アンテナ・スピードコントローラー・ワイヤの位置が悪い
- 過剰電流がモーターに流れている
⇒消費電流の低いモーターに換える⇒小さいピニオンギヤに換える

スピードが出ない、ブレーキが効かない

- バッテリー、モーターの不良
- モーターのギヤ比が適正でない
- 送信機又はスピードコントローラーの設定ミス

走行中に止まってしまった

- 配線の接触不良
- バッテリー、モーターの不良
- スピードコントローラーが極端に発熱した
⇒消費電流の低いモーターに換える
⇒小さいピニオンギヤに換える
⇒スピードコントローラーを風通しの良い位置に配置する

お問い合わせ 及び 修理品の送り先

株式会社 ヨコモ アフターサービス部
〒120-0005 東京都足立区綾瀬5-23-7
TEL 03-5613-7553 FAX 03-5613-7552